



# 高田西城かわらばん

Takada Nishishiro Hospital · · · News letter No.12 <http://www.nishishiro-hp.or.jp/>

## ごあいさつ～平成28年度を迎えて～

理事長 川室 優



昔から、越後高田の春の訪れは、“妙高山の「はね馬」が現れる頃”と伝えられてきました。しかし、昨今の異常気象のためでしょうか？今年の「はね馬」は、例年のような程よい形を示さず、楽しむ期間も短かったようです。越後の人たちにとって、“春の兆し”とも言える「はね馬」は、米作りをはじめ、自然と共存して日常生活を営むことなどにおいて、常に何らかの道標であるような思いがいたします。

当院中庭での“米作り”も本年は第4回を迎え、5月23日に“こころ病む方々”と共に無事田植えを行い、「おいしいお米が育ちますように」と願いを込めて一本締めで終わりました。今年は面積を一畳分増やしましたので、昨年よりも収穫の増量が見込めそうです。患者さんの中には、「昔とった杵柄」と張り切る方や、元気な時に体験した田植えの思い出を語る人もおられました。

人間は、自然と触れ合い、こころ・気持ちが穏やかになると、その人自身に本来備わっている自然治癒力が引き出され、病の回復に繋がると考えられ、それは大変喜ばしいことであります。また、その自然力は人間の免疫力を高め、ストレス強化にもなると言われます。そうした意味で、この中庭の米作りが“癒しの場”になることを願ってやみません。

「和・道」医療福祉グループの川室記念病院では、4月より、東大精神科の岡村毅先生や都立長寿医療センターの宇良先生（心理学）らと、認知症の方の“稲作ケア研究事業”が開始されました。将来、たとえ早期（50代など）に認知症になっても、職を失わず、農業の中心である稲作に携わることにより、就労支援の一助になればとの願いが実を結んだもので、稲作によって人間のこころが豊かになることを目指しています。

当院では、認知症疾患医療センターが設置されており、上越地域の方々が、早期発見から診療・治療につながるよう、気軽に相談できる専門機関としてご利用できます。機能としては、認知症予防から認知症のケアプロセスまで充実しており、その一手段として、地域連携ノート「にっこり手帳」があります。また外来では、湯浅悟院長先生の「もの忘れ外来」「脳の健康外来」を開いております。

さらに、頸南地域の住民の皆様のためにサテライト「こころのクリニック・上越妙高診療所」をオープンして、一年が過ぎました。遅々とした経過ですが“こころ病む”患者さんが訪れてくださり、地域の皆様にも喜んでいただいております。

我が国の精神医療は、薬物療法の領域においては目覚ましい進歩を遂げ、特に、統合失調症を患う方々は病態が軽症化し、以前は入院の対象であった病状も、十分、外来で治療できるようになりました。その一方で外来では、認知症や思春期のこころの病、脳の機能障害と言われる発達障害（Autism Spectrum Disorders：自閉スペクトラム症）などの疾患が増え、精神科医としてより専門性の高い対応が必要なことから、今後、専門外来の設置を計画しております。

また、当院の退院可能な慢性化した方々のためには、より一層、退院後の住居を増やしたいと考えていますが、国・県の財政状況が厳しく、その実現は足踏み状態です。しかし本年度は、法定グループホーム「第一道芝荘」の改築に向けて最大限努力したいと思います。

最後になりましたが、「和・道」医療福祉グループと連携しながら（医）高田西城会の事業運営の質を高めるため、今後とも、地域の皆様方には多大なご協力・ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げますと共に、“こころ病む方々”が一日も早くご回復をされることをお祈り申し上げます。



平成28年6月吉日

青田川の紫陽花の美しさに魅せられて

2016・6・15—高田西城かわらばん—第12号

## ●セクション紹介： 訪問看護ステーション キャッスル高田



藤井管理者（右端）とスタッフ



（医）高田西城会の訪問看護ステーションとして、平成28年2月1日に開設いたしました。

スタッフは看護師4人と精神保健福祉士で医療福祉の関係機関との連絡調整をして、医療福祉チームを構成し、利用者様・ご家族様の人権を尊重し、質の高い医療・看護サービスを提供することにより、住み慣れた地域やご家庭でその人らしく安心して生活ができるようサポートいたします。

利用者様・ご家族様に信頼され愛される、気軽に利用できる住民とともにある訪問看護ステーションを目指して行きたいと思っております。

地域・在宅移行が叫ばれる中、医療・福祉関係機関と連携を取りながら、スタッフ一同声を掛け合い手と手を取り合いながら邁進してまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

### <訪問看護のサービス内容>

- 健康状態の観察と日常生活の看護
- スキンケア
- リハビリテーション
- 医療機器の管理及び指導
- 医師の指示による医療処置
- 認知症、精神疾患の看護・メンタルケア
- ご家族等への介護支援、相談
- 終末期ケア、看取り
- 関係機関との連携



精神保健福祉士と行ってきます



## ● 合同歓迎会の報告



去る平成 28 年 4 月 20 日、料亭「やすね」にて (医) 高田西城会から 97 名、(医) 常心会から 61 名の総勢 158 名が参加した合同歓迎会が行われました。冒頭の川室理事長からの開会の挨拶に続いての新採用者の紹介時には、高田西城会からは青木啓仁先生が代表して挨拶をしました。その後、出席者は食事や歓談をしながら和やかな時間を過ごしました。

## ● 新採用者(新卒)の紹介



金子壮大と申します。看護師としてまだまだ未熟ですが、諸先輩方より看護師としての知識や技術を学ばせていただきながら、毎日精一杯、患者様への看護をさせていただきます。どうか、よろしくお願い致します。



看護師の沢田美枝です。社会に出たばかりで至らない点多々あると思いますが、精一杯頑張ります。宜しくお願いします。



看護師の和田倫子です。歴史ある高田西城病院で、先輩方のような看護師になれるよう、努力を重ねていきます。ご指導のほど宜しくお願いします。



薬剤師の平山のぞみです。1日も早く、薬剤師として1人前になれるよう努力して参ります。何卒よろしくお願いいたします。



診療部検査課に入職した臨床検査技師の宮沢愛彩です。病院の一員として、精一杯頑張ります。ご指導をよろしくお願い致します。



臨床心理技術員の平澤朋之です。まだまだ未熟者ですが、日々精進していきたいと思えます。ご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

## ● 医師の紹介

倉辻 公美 先生



皆様、はじめまして。平成 25 年 10 月より、高田西城病院に勤務させて頂いております内科医師の倉辻公美と申します。これまで大学卒業後は、一般内科の診療に携わり、老年内科を専攻して参りました。長年生まれ育った高田を離れておりましたが、帰郷を機に、御縁あり当院に赴任させて頂きました。気が付くと、高田での生活もあっという間に 3 年が経ちました。これも日々の生活の充実からであると、皆様に感謝しております。

こちらの病院では、主に入院患者様の内科的な疾患の診療に携わらせていただいております。高齢の方は、特に内科的な疾患をお持ちの方が多く、精神的な病気がある方は、身体的な不具合があってもそれを適切に表現できないことがあります。患者様の目線に合わせてお話を親身にお伺いし、言葉以外のサインを見落とさず、最適・最善の治療をご提供できますよう心掛けて参ります。

まだまだ至らぬ点多くございますが、故郷の方々のお役に立てるよう努力して参ります。皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。

## ● 編集後記

高田西城病院 広報情報編集委員会



新年度が始まり爽やかな季節が続いていますね。新入生や新社会人、転居や異動などで環境が変わった人のなかには、理想と現実の違いに直面し、思い悩む人がいるのではないのでしょうか。このような症状は「五月病」と言われていますが、近年では入社後の新人研修を終えて、実務をはじめたばかりの新社会人に同じような症状が見られることから、「六月病」とも呼ばれ話題になっています。これら「五月病・六月病」は病名ではありませんが、無気力や気持ちが沈んだ状態を指し、うつ病の一步手前の状態とされているそうです。

「六月病」を防ぐためには、現実をあるがままに見つめ、明るく素直に順応することが大切です。新しい環境に早く慣れるように努力し、失敗をしながら仕事を覚えるくらいの楽な気持ちで毎日を過ごすようにしましょう。

話は変わりますが、熊本地震で被害にあわれた方々にお見舞い申し上げます。

天災がないには越したことはありませんが、避難場所の確認や防災道具は備えておきましょう。  
(A・U)

バックナンバーはホームページ（PC、スマホ）よりご覧いただけます。

高田西城病院

検索

